創立50周年記念式典を挙行

平成二十七年十一月二十日(金)

本校は平成二十七年に創立50周年を迎えました。その歩みを祝うべく、十一月二十日(金)、本校にて記念式典と記念祝賀会を挙行、ご来賓・教職員約300名と在校生約1000名が一堂に会しました。記念式典は、国歌斉唱、母校讃歌斉唱で始まり、辻本賢理事長・学校長による式辞、大阪府知事(吉本馨 大阪府私学・大学課課長代読)、坪光正躬・大阪中高連会長、水川健司・保護者会会長の祝辞と続きました。

さらに、赤木裕子・尚友会副会長より記念事業費・50周年記念寄付金の贈呈、徳永隆司・保護者会副会長より記念事業費積立金の贈呈があり、最後に、一年前に発足したばかりの本校吹奏楽部による演奏(アルヴァマー序曲)が披露され、式典は厳かに終了。

記念祝賀会では、岸本大三郎・尚友会会長、島﨑靖久・金蘭会学園理事長、エドモンド キング・イートンカレッジ&ハロウスクール日本事務所所属の祝辞、各界からの祝電披露と続き、随所で歓談の絶えない中、和やかな雰囲気の内に終了しました。

(大中)

卒業生による講演会

中一対象

平成二十七年七月六日(月)

(株)テルミーソリューションズ
代表取締役社長
山本光平氏(七期生)

山本さんは、本校七期生で、「先輩としてのキャリア教育」というテーマで講演して頂きました。内容は、セレンディピティの代表例マジックテープの発明の話から始まり、経験として、どのようにして会社の売上を大幅に増加させたのか、金蘭千里で何を学んだかなどを分かりやすく、熱く説明して頂きました。最後に「皆にも幸せを」という言葉で締め括られ、解散後も沢山の生徒が集まり、中一生にとって大変有意義な一時となりました。

(井藤)

中三対象

平成二十八年二月八日(月)

原島マネジメント研究所代表
原島俊郎氏(七期生)

「働くとはどんなこと?自分はどんな仕事が向いているの?」をテーマに、『ハピキャリキット』というカード教材を使って講演していただきました。

『ハピキャリキット』とは、米国の心理学者ジョン・L・ホランドの理論に基づいて、その人に合った職業を探すためのものです。数ある職業カードの中から、やってみたい職業を選び出し、専用の職業マップの上に置いていきます。すると、6つのタイプ(企業的・慣習的・現実的・研究的・芸術的・社会的)のうちどのタイプに適性があるのかがわかるようになっています。

自分の興味と職業のタイプが合っている人は満足感を得やすい。大変でも頑張れるから。生徒たちにとって、将来の職業を考えるいい機会となったことは言うまでもありません。

(白木)

高一対象

平成二十七年六月十二日(金)

国連世界食糧計画プログラムオフィサー
松元正寛氏(二十七期生)

「国際力を身につける」。

七月からスーダンに赴任される直前に母校を訪問された先輩の講演を拝聴する機会を得ました。

松元さんは何故アメリカの大学に進学したのか、どのようにして米州開発銀行、世界銀行での仕事を経て、外務省の幹旋するJunior Professional Officerとして国連世界食糧計画に就職するようになったのか、Program Officerとして、南スーダン、チャド、コンゴ民主共和国などの内戦や自然災害に苦しむ国々の人々への食糧支援に従事した経験から、国際社会で国際人として活躍するのはどういうことかというお話をして頂きました。

将来の進路を考えている生徒達にとって先輩によるこの講演は非常に意義深いものとなりました。(森脇)

高一対象

平成二十七年六月二十日(土)

六月二十日(土)、ホームカミングディが開催され、多くの卒業生が母校に戻って来るこの日に、高等学校一年生対象に卒業生による進路講演会が開催されました。

講師として後輩達の前でそれぞれの大学受験の体験談や高校時代の学習法や生活、大学での生活について話をしてくれたのは、本年度京都大学文学部に進学した、高橋優佳里さんと、現在神戸大学医学部4回生の塩屋暁子さん、そして教育実習生として実習中の大阪府立大学工学部4回生の宮脇直弥くんの三名の先輩方でした。

三人ともそれぞれ個性あふれる講演となりましたが、共通して、後輩達に、高等学校の今を大切にすること、将来に向けての夢や希望持って、素直に、真摯に学び、しっかり生きることをアドバイスしてくれました。

金蘭千里で学びそれぞれの分野で頑張っている先輩の言葉に熱心に聞き入っている生徒たちの姿が印象的でした。

(森脇)

講演者の言葉

京都大・文 1回生
高橋 優佳里さん(48期)

誰もが一度は考えたことがあると思います。しかし、悩んでも時間の無駄です。とりあえず無心で勉強しましょう。私は今、大学生になり、恥ずかしながら三月からほとんど勉強をしていません。ただ、一度死ぬ気で勉強をして燃え尽きると、学ぶということがどれほど有意義なものなのかに気付かされます。答えを見つけるべく頑張ってみて下さい。私もそろそろ勉強を再開しようと思います。

神戸大・医 4回生
塩屋 暁子さん(45期)

金蘭千里は私たちの頃とは大きく変わり、部活動からキャンプまで生徒自ら工夫して楽しめる幅も広がったのではないでしょうか。目指す大学、さらには大学入学後の学び方、生き方はもっと自由です。自分の人生をどう生きていきたいのかということも高校生は考えてみてもいいのかな、と思います。もちろん、そのスタートを切るには基礎力をつけておくことが大前提です。金蘭生らしくしっかり勉強して下さい。

大阪府立大・工 4回生
宮脇 直弥さん(45期)

進路に不安を抱えている人もたくさんいると思います。しかし、不安の大きさは夢の大きさでもあります。なので、今はたくさん悩んでください。そして今はその夢に向かって毎日コツコツするべきことをしてください。そのためには、やる気はもちろんのこと実行力も大切となってきます。様々な人にアドバイスをもらい、その実行に活かし、高校生活を濃いものにしてください。